

9月13日に南部音楽フェスティバルも無事終了し合唱発表会にて一番に東京へ推薦されました。20日の東京の合唱発表会では、上位で神戸祭典の合唱発表会へ推薦され、団員一同喜んでいます。話は変わりますが、先日、原水爆禁止世界大会参加者の報告集会に参加してきました。横浜市鶴見区の病院勤務の若い女

て溶けてしまい影になってしまつたり、皮膚が垂れ下がり目が飛び出したり、水欲しさに足を引きずりながら川に向かって歩く姿などを、写真や体験者の話を聞いて原爆の恐ろしさを感じ、原爆は人間が作り出した最悪の兵器だと思ったと言う感想。



季節も秋らしくなつて
来ました。朝夕は少し肌
寒いぐらいになり、皆さ
ん体調にはくれぐれもご
注意ください。

性三人、長崎大会参加の
感想ですが、一人は看護
師さんで、原爆の恐ろし
さ、悲惨さ、そして熱線
と爆風で人間が一瞬にし

のためを使っていますが、放射線は病気の患者さんにはとても役に立つものですが、兵器として使われてしまうと、とてつも

世界から核兵器を無くす
と言う思いを、どれだけ
聞く人達に伝えられるか、
演奏の技術的なものはも
ちろんですが、一人ひと
りが、歌の中にその思い
を表現できたら、いい演
奏になると思います。そ
して、もう一曲は「あな
たが夜明けを告げる子ど
もたち」素晴らしい未来

胸を張つて神戸
祭典へ

团长 加山忠

なく悪いものになつてしまふ事を実感。これからは、核兵器廃絶のために微力ながら、自分の出来る事はやつていきたいと痛感しました、と言う三人の感想でした。

連載 気したる記事をつぶやかたい 第109回
つぶやく新聞No.2899 10/6 15面

山形セントラーコンサートの木村泉さんの随想で、木村さんが講評委員をした時の経験が書かれています。“私たちが目指す音楽とは”として「合唱の評価は、技術の上手下ではない。伝えたいことが伝えられていくかどうかだ。”ということを他の方に言わされた、と。自分たちも歌う時に、

鶴岡さんから「♪あの山をうは、どういう状況を思い出しますか?」とよく言われますね。歌の内容をどう気持ちに表していかを考えながら、嬉しい、悲しい、辛い時などに合わせた顔の表情と声の強弱を歌の内容に沿うように考え作つていきたいと思つています。

が来ることを願つて、心を込めて演奏します。この2曲で、全国祭典で入賞を目指して演奏してまいります。友の会の皆さん応援よろしくお願いします。